

専 門 教 養
令和 7 年 7 月
60分

受 験 教 科 等
小・中・高等学校共通 保健体育

注 意

- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、11ページです。はじめにページ数を確認してください。
- 7 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号**を記入し、**受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名**を記入してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは**不要**です。
- 8 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 10 問題の内容についての質問には一切応じません。

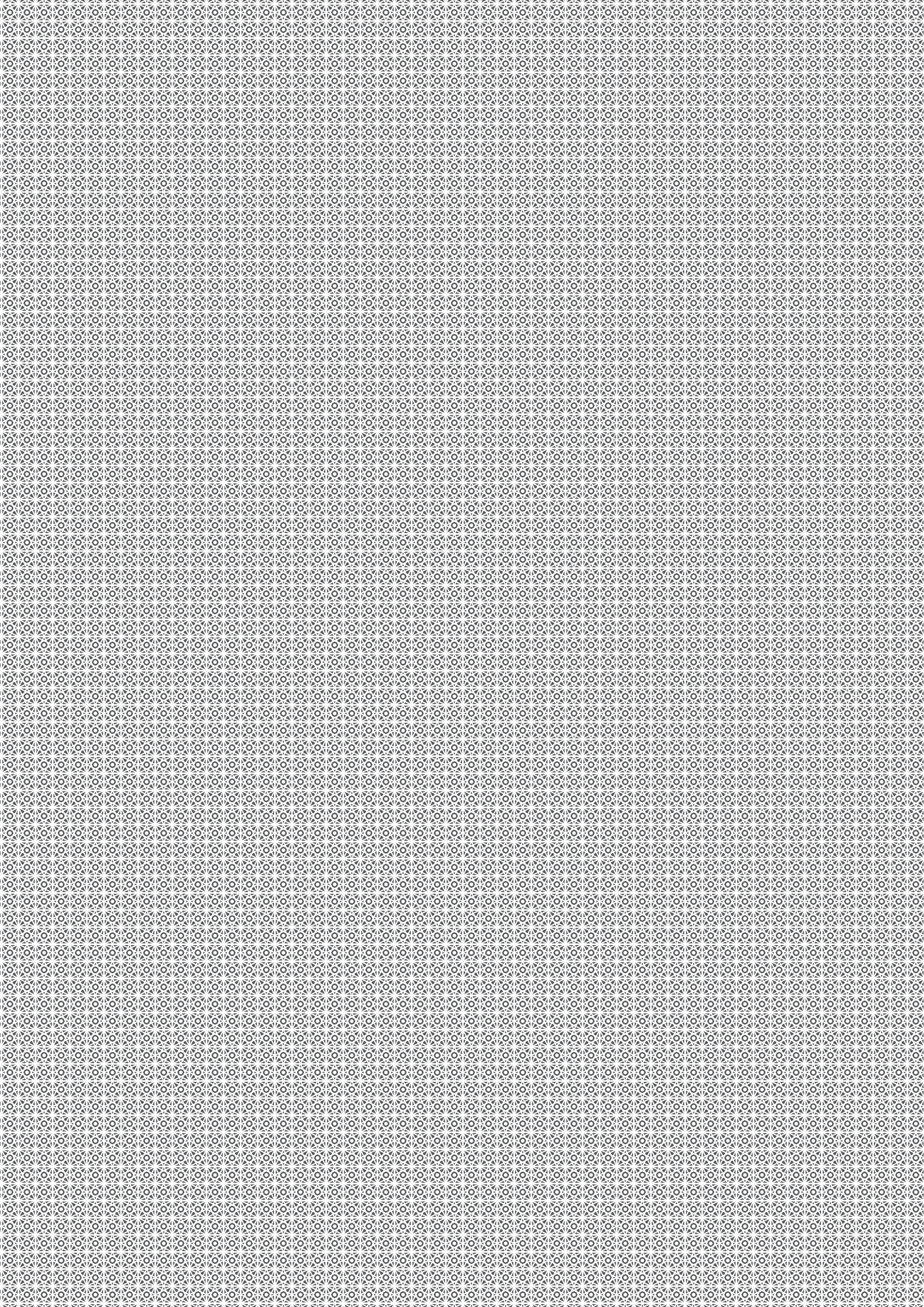
解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤り**とします。
- 2 「解答番号は 1。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の(例1)のように解答番号 1 の解答欄の③にマークしてください。

(例1)

解答 番号	解答欄
1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。



1

次の各問に答えよ。

〔問 1〕 中学校学習指導要領保健体育の「各学年の目標及び内容」の〔保健分野〕の「内容」において、身に付けることができるよう指導するとされている事項に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **1**。

- 1 「安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にすること。」の「応急手当」については、適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があること。心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うこと。
- 2 「生涯を通じる健康について理解を深めること。」の「労働と健康」については、労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をすること。
- 3 「健康と環境について理解を深めること。」については、人間の生活によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があること。
- 4 「現代社会と健康について理解を深めること。」の「生活習慣病などの予防と回復」については、健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であること。

〔問 2〕 高等学校学習指導要領保健体育の「各科目」の「体育」の「目標」に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **2**。

- 1 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- 2 運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 3 各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。
- 4 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

〔問 3〕 スポーツ基本法の基本理念に関する記述として**適切でないもの**は、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 3。

- 1 スポーツは、とりわけ心身の成長の過程にある青少年のスポーツが、体力を向上させ、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培う等人格の形成に大きな影響を及ぼすものであり、国民の生涯にわたる健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎となるものであるとの認識の下に、学校、スポーツ団体、家庭及び地域における活動の相互の連携を図りながら推進されなければならない。
- 2 スポーツは、スポーツを行う者の心身の健康の保持増進及び安全の確保が図られるよう推進されなければならない。
- 3 我が国におけるスポーツの理念が示されており、スポーツが、国際相互理解の増進や国際平和に寄与するものとなるよう推進されることについては基本理念として示されていない。
- 4 スポーツは、人々がその居住する地域において、主体的に協働することにより身近に親しむことができるようにするとともに、これを通じて、当該地域における全ての世代の人々の交流が促進され、かつ、地域間の交流の基盤が形成されるものとなるよう推進されなければならない。

〔問 4〕 次の図は、熱中症予防運動指針に関するものである。図中の空欄 **ア** ・ **イ** に当てはまる数値の組合せとして適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **4** 。

図

WBGT 〔℃〕		
31	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
ア	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分を補給する。暑さに弱い人は運動を軽減または中止。
	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、 イ 分おきくらいに休憩をとる。
25	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
21		
	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

(公益財団法人日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」
(令和元年5月) から作成)

- | | | | | |
|---|----------|----|----------|----|
| 1 | ア | 27 | イ | 30 |
| 2 | ア | 27 | イ | 60 |
| 3 | ア | 28 | イ | 30 |
| 4 | ア | 28 | イ | 60 |

〔問 5〕 救命処置に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 5。

- 1 倒れている人を発見したら、周囲の安全を確認せずに倒れている人のところへ近づき、耳元で大きな声で呼びかけながら、肩を軽くたたき反応を確認する。
- 2 倒れている人の反応がない場合は、大きな声で助けを呼び、協力者が集まってきたら 119 番の通報と A E D の確保を依頼する。協力者がいない場合には、協力者が集まるまで何もせず待機する。
- 3 胸骨圧迫は、1 分間に 50 回から 60 回のテンポで、30 回連続で胸が約 10cm 沈む強さで圧迫する。
- 4 A E D を用いて電気ショックを行うときは、傷病者に触れない。

〔問 6〕 プールの施設・設備の安全管理に関する記述として、「学校体育実技指導資料 第 4 集 水泳指導の手引（三訂版）」（文部科学省 平成 26 年 6 月）に照らして適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 6。

- 1 水温管理の目安は、低学年や初心者ほど水温に敏感で、一般的に 23℃ 未満ではあまり学習効果は期待できないため、水温は 24℃ 以上であることが望ましい。上級者や高学年であれば 23℃ 以上の水温が適当である。
- 2 水の消毒には、次亜塩素酸ナトリウム液、次亜塩素酸カルシウム又は塩素化イソシアヌル酸のいずれかが使用される。消毒作用は、持続性に優れているが、速効性はない。
- 3 プールの排水口等については、安全対策が確実に確保されているかのプール使用期間前後の点検、日常の点検・監視による安全確認、異常が発見されたときに迅速かつ適切な措置が実施されるような管理体制を整備しておくこと等が必要である。
- 4 水位設定では、水を抜くなどの方法で水位を調整する場合は、授業の前後で担当教職員と引き継ぎせずに水位を確認する。

2

「体育」に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 跳び箱の指導に関する記述として、「学校体育実技指導資料 第10集 器械運動指導の手引」（文部科学省 平成27年3月）に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 7。

- 1 開脚跳びでは、手、腕の操作は初期の「突き放し、切り返し」から、次第に「支えて体を前移動」が行えるように指導する。
- 2 屈身跳びでは、助走から両足踏み切りを行い、跳び箱に手を着いて足で跳び乗り、手で突き放し、膝を曲げて胸の方に引き寄せ、両足で跳び箱に乗れるように指導する。
- 3 首はね跳びでは、真上にはね動作をしないよう、跳び箱上の支持面より腰が前に出る前に、はね動作を行うように指導する。
- 4 前方倒立回転跳びでは、手の突き放しの仕方が分からないときは、ステージ上などからマット運動の前方倒立回転跳びと同じように手の突き放しを行い、安全に着地できるように指導する。

〔問 2〕 砲丸投のルールに関する記述として、「陸上競技ルールブック2025年度版」（公益財団法人日本陸上競技連盟 2025年4月）に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 8。

- 1 競技者がサークルの中で投射を始めようと構えた時には、砲丸をあご又は首につけるか、あるいは近接した状態に保持しなければならない。
- 2 サークルの前方に設置されている足留材の内側に触れてはいけない。
- 3 砲丸投のサークルの内側の直径は、ハンマー投と異なり、2.135mである。
- 4 サークルを出る際は、サークルの両側に引かれている白線より、前方でなくてはならない。

〔問 3〕 平泳ぎに関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 9。

- 1 ストリームラインとは、頭を下げて体を一直線にするけ伸びのことであり、手は肩の幅に開き、前方にしっかり伸ばす。
- 2 脚の動作は、両足先をそろえて伸ばした状態から両膝を引き寄せながら肩の幅に開き、同時に足のつま先を上向きにして踵を尻の方へ引き寄せる。
- 3 腕の動作は、逆ハートを描き力強く脇をしめ、胸の前で両手を合わせる。手を合わせたまま抵抗を受けないように前方へ返す。
- 4 ターンやゴールタッチは水面の上下どちらでもよいが、片手で行わなければならない。

〔問 4〕 サッカーの競技規則に関する記述として、「サッカー競技規則 2024/25」（公益財団法人日本サッカー協会 2024年7月）に照らして適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 10。

- 1 試合は、11人以下の競技者からなる二つのチームによって行われ、いずれかのチームが8人未満の場合、試合は、開始も続行もされない。
- 2 交代要員は、主審の合図を受ける前にハーフウェーラインのところから競技のフィールドに入ることができる。
- 3 全ての相手競技者は、スローインが行われる場所のタッチライン上の地点から少なくとも1m離れなければならない。
- 4 競技者がゴールキックからボールを直接受けたとき、オフサイドの反則にはならない。

〔問 5〕 バドミントンの打法であるヘアピンに関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 11。

- 1 コート中盤や後方から、相手コートのネット近くにシャトルを沈める打法である。
- 2 ネット近くで目線より高い位置からラケットをコンパクトに振り、鋭角に落とす打法である。
- 3 ネットギリギリの高さで床と平行にシャトルを飛ばす打法である。
- 4 ネット近くに来たシャトルを相手コートのネット付近に落とす打法である。

〔問 6〕 剣道の技に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 12。

- 1 出ばな面は、応じ技の一つで、相手が攻め込もうとする、又は、打ち込もうとするときに、その起こりばなをすかさず踏み込んで正面を打つ技のことである。
- 2 小手すり上げ面は、応じ技の一つで、相手の小手打ちに対して、竹刀の左又は右側面で、相手の竹刀をすり上げると同時に面を打つ技のことである。
- 3 払い小手は、応じ技の一つで、右足から攻め込むと同時に、相手の竹刀を右上に小さく払い上げ、素早く右小手を打つ技のことである。
- 4 引き胴は、応じ技の一つで、送り足で、後方あるいは斜め後方に退きながら右胴を打つ技のことである。

〔問 7〕 次の記述は、我が国のある踊りに関するものである。この踊りの名称として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 13。

北海道の日本海沿岸でのニシン漁の際に唄われた唄が発祥元で、漁師たちの力強く躍動感あふれる姿をイメージして踊る。

- 1 阿波踊り
- 2 エイサー
- 3 ソーラン節
- 4 よさこい節

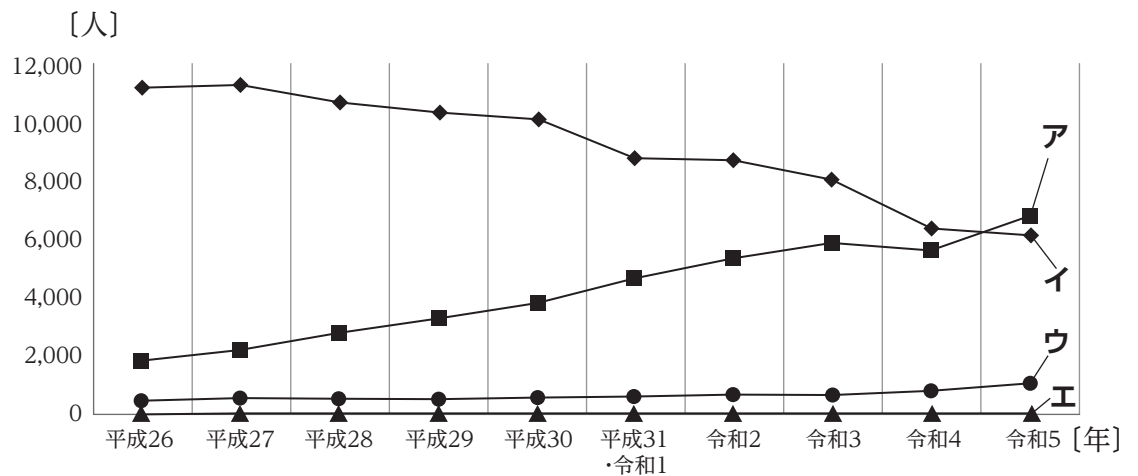
〔問 8〕 トレーニングに関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 14。

- 1 柔軟性を高めるトレーニングには、反動を利用して行うなど、動きを伴う静的ストレッチと、目的とする筋肉を次第に伸ばしていき、その姿勢を維持する動的ストレッチがある。
- 2 調整力を高めるトレーニングには、合図に応じて走る方向をすばやく切りかえる運動がある。
- 3 オーバーロードの原理とは、練習やトレーニングによって技能や体力を向上させるために、それまでに行っていた運動より強度や難度が低い運動を行うことである。
- 4 全身持久力のトレーニングには、高強度のランニングや運動を、短い休息時間をはさんで繰り返すレペティショントレーニングや、全力の運動を十分な休息をとって数本繰り返すインターバルトレーニングがある。

3 「保健」に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 次の図は、我が国の薬物事犯検挙人員の推移を表したものである。図中のア～エには、それぞれ覚醒剤、大麻、麻薬・向精神薬、あへんのいずれかが当てはまる。アに当てはまるものとして適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 15。

図



(薬物乱用対策推進会議「『第六次薬物乱用防止五か年戦略』フォローアップ」
(令和6年7月)から作成)

- 1 覚醒剤
- 2 大麻
- 3 麻薬・向精神薬
- 4 あへん

〔問 2〕 大気汚染に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 16。

- 1 自動車のディーゼル車から排出されるシアンのうち、特に粒径が小さいものはPM 2.5と呼ばれ、肺の奥深くまで入り込むため、肺がんや心疾患などの循環器疾患を引き起こすことが知られている。
- 2 光化学スモッグとは、大気中のフロンガスにより、空に白くもやがかかったような状態をいい、目が刺激されたり呼吸困難が引き起こされたりする症状がある。
- 3 室内空気環境において、住宅の建材、接着剤、塗料などから発生する化学物質が原因で、目や鼻、喉の粘膜刺激症状、頭痛やめまいなどのシックハウス症候群が引き起こされる。
- 4 酸性雨とは、大気中に放出された塩基性物質が雨に溶け込んで地表に降ってきたものであり、酸性雨により、河川や土壌が酸性化し、生息する魚が減る、植物が枯れるなどの影響を及ぼす。

〔問 3〕 我が国の医療制度に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 17。

- 1 医療機関は病院と診療所に大別でき、40床未満もしくは病床をもたないものを診療所という。
- 2 医療技術の進歩や高齢化などを受け、高度な医療を行う大学病院やがんセンターなどの地域医療支援病院が設置され、緊急の患者に対応するための緊急医療体制の整備も進んでいる。
- 3 国民皆保険制度により、医療費は被保険者から7割、保険者から3割の支払いで医療を受けられるようになっている。
- 4 かかりつけ医は、けがや高血圧症など日常見られる病気などを診察し、必要に応じて他の病院へ紹介を行うなど、地域における個人や家庭の健康相談、健康管理の役割を担っている。

〔問 4〕 がんに関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 18。

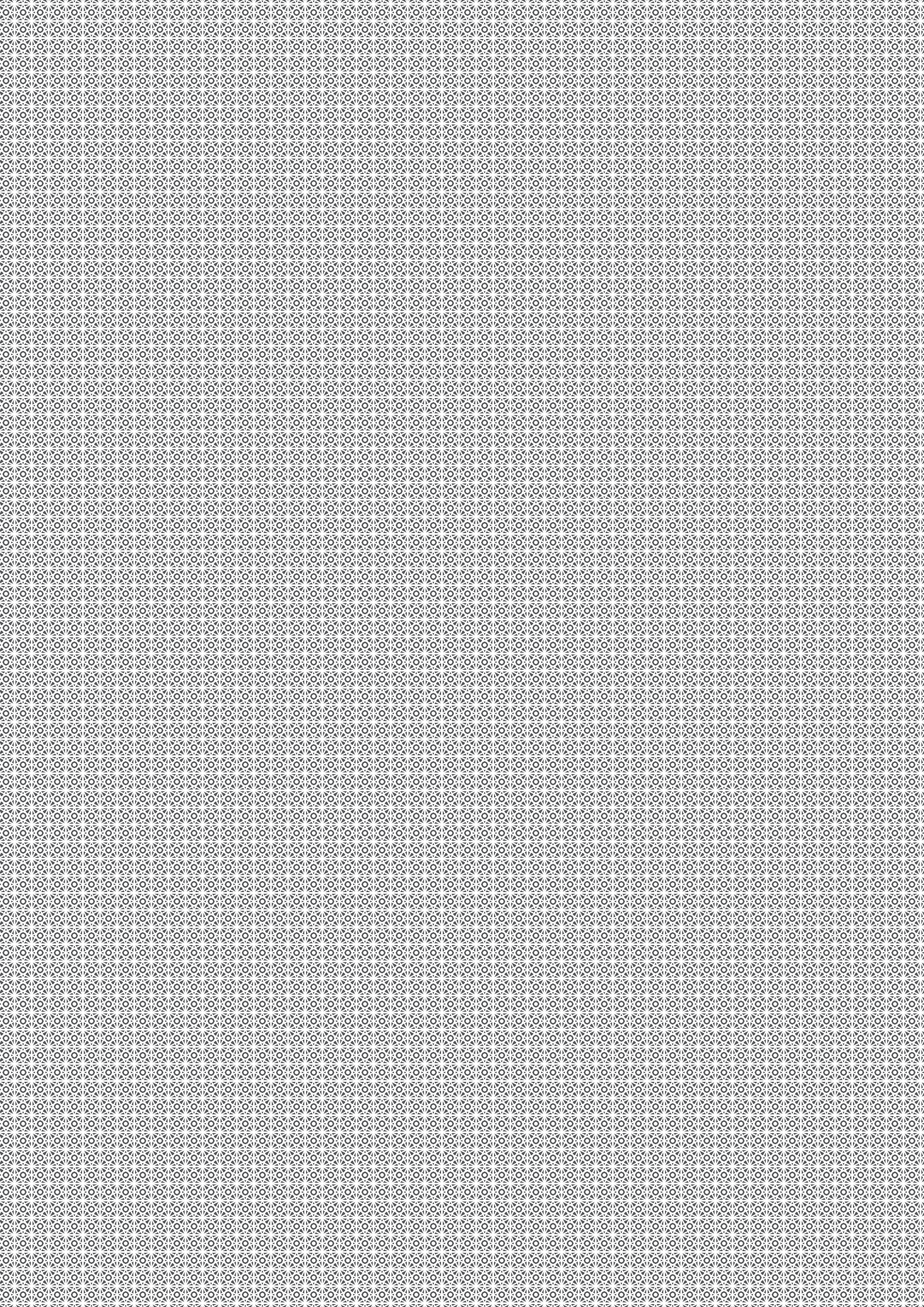
- 1 大腸がんは、結腸、直腸、肛門に発生するがんで、運動不足や肥満がリスク要因である。がんが進行すると、血便、下痢と便秘の繰り返し、便が残る感じ、体重減少などが起こる。
- 2 肺がんは、ピロリ菌の感染が発病に関わる。日本人のがんの中で死亡数が最も多く、特に男性に多い。
- 3 肝臓がんは、喫煙が主な原因で、肝臓の細胞ががん化したものである。男性に多い傾向がある。
- 4 子宮がんは、ヒトパピローマウイルス感染が原因で、子宮の入口にできる子宮体がんと子宮体部にできる子宮頸がんの 2 種類に分けられる。

〔問 5〕 生活習慣病に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 19。

- 1 脳血管疾患には、脳内の血管が詰まって血流が途絶えてしまう脳出血と脳内の血管が破れて出血を起こす脳梗塞がある。
- 2 虚血性心疾患の危険因子には、高血圧、脂質異常症、糖尿病がある。
- 3 二次予防とは、適切な生活習慣を身に付けることによって、健康を増進して発病を予防するものである。
- 4 三次予防は、健康診断やがん検診を定期的に受診し、生活習慣病の早期発見と治療の開始につながりやすく、病気の進行を食い止めたり改善させたりすることができる。

〔問 6〕 教室等の環境に係る学校環境衛生基準に関する記述として、「学校環境衛生基準」(文部科学省 令和 6 年 3 月) に照らして適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 20。

- 1 温度は18℃以上、30℃以下であることが望ましい。
- 2 換気の基準として、二酸化炭素は、1600ppm以下であることが望ましい。
- 3 コンピュータを使用する教室等の机上の照度は、500～1000lx程度が望ましい。
- 4 教室内の等価騒音レベルは、窓を閉じているときはLAeq55dB以下であることが望ましい。



3 問題文中の $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ などの $\boxed{\quad}$ には、数字又は符号 (－) が入ります。次の(1)～(4)の方法でマークしてください。

(1) $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……の一つ一つは、それぞれ1～9、0の数字又は符号 (－) のいずれか一つに対応します。それらを $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、 $\boxed{234}$ に -84 と解答する場合には、次の(例2)のようにマークします。

(例2)

解答 番号	解答欄
$\boxed{2}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{3}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{4}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

なお、同一の問題文中に $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ などが2度以上現れる場合、原則として、2度目以降は、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{\boxed{56}}{\boxed{7}}$ に $-\frac{4}{5}$ と解答する場合には、 $\frac{-4}{5}$ として、次の(例3)のように

マークします。

(例3)

解答 番号	解答欄
$\boxed{5}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{6}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{7}$	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていなければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⑩にマークしてください。

例えば、 $\boxed{8.910}$ に 2.6 と解答する場合には、 2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。